

(後期課程)

家庭学習の手引き



河内町立かわち学園

7年 組 番 名前

学力をつけるためのポイント

① 学力の基盤は生活習慣

学力というものは毎日こつこつと努力を積み重ねることではか身につきません。そのためにはまず**生活習慣を整える**ことが重要です。

生活のリズムが乱れていては学習を続けることができなくなり、学力が身につけません。

1. 体調を整える。
2. 決まった時刻に、寝る・起きる。
3. 3度の食事をきちんと取る。(特に朝食。朝食を取らないと脳が活発に働かない。)
4. 遅刻をしない。(自分で時刻を確認して行動して、余裕をもつ。)
5. 忘れ物をしない。(持ち物は前日にそろえる。)
6. 夜遅くに勉強しない。(帰宅後すぐ実施、早い時間にする。)

② 学校での学習

授業での1時間は、家庭学習の2～3時間分にあたります。まずは**授業が勝負**です。(「分かりたい」という気持ちをしっかりもって臨みましょう。)

1. 先生の話や友達の意見をしっかり聴く。(「耳+目と心」で)
2. 自分で考え、重要な内容は授業中に理解する。
3. 進んで発表する。(発表したことはよく覚えられる)
4. ノートは授業中にまとめる。気になったことはメモを取る。
5. 分からないことは友達や先生に質問する。(「質問する力」も学力のひとつです。)
6. 友達と協力して学び合う気持ちを持ち、ペアやグループでの学習に積極的に取り組む。

③ 家庭での学習

たとえ宿題がなくても、毎日の家庭学習が必要です。それは授業で理解したことを時間をかけて覚えたり、また何回も練習したりすることが必要な教科もあるからです。だらだらと長い時間をかけるより、**集中して取り組む**ことが必要です。毎日必ず家庭学習をしましょう。

*時間の目安は、平日で7・8年生が1日90分、9年生は1日120分です。

- 1 宿題は必ずする。
- 2 決まった時間に、決まった場所で学習する。(遅くまで勉強しても思ったほど効果は上がらない。それどころか生活のリズムを乱し朝起きられなくなる。)
- 3 テレビを見ながら・・・, 音楽を聴きながら・・・といったような「ながら」勉強はだめ!
- 4 自分にあった学習の仕方を工夫しよう。教科書や参考書をただながめていても効果は上がりません。声を出して読んでみたり, 紙に何度も書いて覚えよう。要点をノートにまとめたり, 図や表や式を書くことは理解を助けます。
- 5 自分にあった問題集を購入して学習する。問題を解いたら必ず答えを確認し, 間違えたものは2度, 3度とやり直し, 同じ間違いを繰り返さないことが大切です。
- 6 「家庭学習帳」を作って, 毎日自主的に学習をする。

国語

予習・復習

- 1 教科書を音読する。(黙読よりも目、耳、口を使うことで効果があります。)
- 2 現在習っているところの、分かりにくい言葉の意味を調べる。(宿題にもなります。メモ欄に書いておくとういでしょう。)
- 3 新出漢字を覚える。(漢字テストがあります。読み方も一緒に覚えましょう。)
- 4 漢字テストの間違ったところをやり直す。(何度かくり返しノートに書いて覚えるとよいでしょう。)
- 5 ノートの整理をこまめにする。(プリントは、出来るだけその日の内にきちんと貼りましょう。)

家庭学習

- 1 漢字を繰り返し練習する。(入試には、小学校高学年からの漢字が出ます。)
- 2 読書をする。目指せ1年間で30冊以上!!

テスト前勉強

- 1 範囲内の新出漢字を覚える。
- 2 ノートを見直す。まとめ直す。
- 3 教科書をくり返し読む。
- 4 ワークで要点を押さえる。
ワークは丸つけまできちんと行う。



予習より復習をしっかりと！！

社会

まずは

- 1 授業を大切にす。先生の説明に集中する。
 - ・テストは、授業の内容から作ります。
- 2 忘れ物をしない。4点セット(教科書・資料集・ノート・ワーク)
 - ・忘れ物があると授業の内容がわからなくなります。

家庭学習では

- 1 教科書を必ず読む。太字の単語を家庭学習ノートに書き抜き出し覚え単語の意味も書いておきましょう。
テストは教科書や資料集にのっていることからつくるようにしています。本文だけでなく、資料や地図、グラフなども見ておくことが必要です。
- 2 教科書にのっている言葉や語句のうちで、意味がわからないものは自分で調べる。
- 3 授業で配られたプリントの問題を見直す。特に色を変えて板書され言葉や先生が「よくテストに出る内容です。」と言っていた言葉は必ず覚る。
- 4 新聞やテレビのニュースを見るようにする。

さらに発展させたい人は

- 5 社会に関係するテレビ番組をできるだけ見るようにし、興味をもつようにする。
- 6 5をしているときに、わからない言葉や地名が出てきたときは、すぐに調べる習慣をつける。
- 7 問題集は、何回も繰り返して学習し、暗記するまでくりかえす。



数学

数学の力をつけるためのポイント

① 授業を大切にす

○授業前、学習用具を揃えて、2分前着席をしましょう。

○いっぱい考えて発言する。

○説明を聞くととき、ノートに書くとときの区別をつける。

先生の説明は集中して聴くこと。ノートはただ写すだけではなく、理解しながら、自分の考えを添えて書くこと。

○分からないことは質問する。

説明を聞いて分からなかったことはそのままにしないで、班の人や先生に聞いてその日の内に理解することが大事。



② 家庭学習をがんばる（復習を中心に！）

○ワークの習った範囲の問題を解く。（定期的に提出）

すぐに解答を見ないで、まず自分の力で解いてみる。結果よりも途中の考え方や計算が大切。学習した後はすぐに答え合わせをする。

（せっかく学習しても、やりっ放しでは、自分の間違いに気が付かない。）

間違えたものはすぐに直して、どこで間違えたのかを確認する。

（間違えたものを発見し、自分の間違いの癖を確認し、それを正すことが勉強です。）

○課題プリント。（定期的に提出）

授業で習ったときには分かっているつもりになります。でも、何もしていないと時間が経てば忘れてしまうものです。

ワーク同様、力の確認になります。必ず自分の力でやりましょう。

○自主学習に取り組む。

さらに自主的に学習をしよう。学校で配られたプリントを活用しよう。また家庭学習ノートに、学校で学習をしたことをもう1度整理したり、教科書の問題をやることも大切です。

また、自分に合った（難しすぎない）問題集を買ってきて学習することも大事です。ただし、あまり分厚くないもの、解答の解説ができるだけ詳しいものを選ぶことがポイントです。

理科

理科の学習は、自然のことや身の回りのいろいろなことに、関心をもつことから始まります。

目的をもって観察や実験を行っていくことによって、科学的に調べる能力や考える力がついてきます。何事にも関心をもって積極的に授業に参加していきましょう。特に観察や実験は重要です。班で協力して取り組むことはもちろん、結果を見て、何故そうなるのか自分の言葉でしっかりまとめましょう。

また家庭では、その日に習ったことを復習することが大切です。その日に習ったところの教科書とノート（プリント）を開いて、授業で習ったことを思い出しながら復習していきます。1時間の授業では重要なポイントとなる部分が必要あります。重要なポイントは先生が強調して説明します。ポイントを中心に復習すれば、効果的に復習することができます。また家庭での復習は、1週間まとめてしても効果はあまりありません。理科の授業があった日ごとに復習しましょう。

授業でのポイント

- ▽先生の話をしっかり聞きましょう。
- ▽ノートをしっかり取りましょう。
(先生の話聞く時とノートを取るときは区別しましょう。)
- ▽積極的に発言をしていきましょう。
- ▽観察や実験は班で取り組み協力しましょう。
- ▽何故そうなるのかという理由を自分の言葉で説明できるようにしましょう。



家庭学習のポイント

- ▽授業での重要ポイントを中心に理科ワークを使って復習をしましょう。
- ▽復習は授業のあった日ごとにしましょう。
- ▽理科に関係のあるテレビ番組やニュースなどを見ましょう。



学校の授業と家庭学習はバランスが大切です。学校の授業に集中し、家庭学習でしっかり復習すれば、定期テストの前にあわてることもなくなります。理科の学習に興味関心をもって、取り組めば自然と学習の効率が上がってきます。「理科は苦手だ～」などと、簡単にあきらめずこつこつと努力していきましょう。

音楽

7年生1学期週2時間，2・3学期週1時間の授業です。実技（歌唱・器楽）・鑑賞を中心にプリントなどを使用しながら授業が進んでいきます。

1時間1時間を一人一人がしっかり受けることが，クラス全体の合唱や合奏の素晴らしい演奏につながっていきます。一人でも勝手な行動をする人がいたら授業は成立しません。授業での頑張りが最も大切，もちろん忘れ物・遅刻は減点になるのでしないように注意しましょう。

やっぱり授業が勝負！毎時間の授業に一生懸命に取り組み，実技を磨いて合唱する喜びや合奏する喜びを味わい，表現する力・考える力を養ってほしいと思います。

あえて家庭学習としてあげるならば，今はテレビやラジオでいろんなジャンルの音楽が流れています。…良い演奏をできるだけたくさん聴くこと，もちろん生演奏で聴けたらもっといいですね。コンサートなどに出かけていくのもよいでしょう。聴いたこと感想を書きとめておくと後々役に立つものです。



美術

1. 学習する内容

学習する内容には、大きく分けて『絵画』『デザイン』『工芸』『立体』などの作品に表現する分野と『鑑賞』して学ぶ分野があります。7年生では1・3学期週1時間、2学期週2時間です。

2. 授業を受ける上での心構えと家庭でできること

- ① 上手く描こう、上手く作ろうではなく、自分らしく、自分の思いを表現しようという気持ちで、積極的に授業に参加しましょう。たくさんの作品に触れることで、感性が豊かになります。
友達同士で、または、親子で美術館・博物館にぜひ足を運んでほしいと思います。本物に触れることが大切です。画集をパラパラ観るのもいいですね。また、身近な仲間の作品から学ぶこともできます。
- ② 作品完成までの過程を大切にしましょう。作業中は刃物などを使うこともあるので、ふざけないこと。授業中に終わりになるように精一杯集中して取り組みましょう。期限を守って提出しましょう。
- ③ 先生の説明は静かに聞きましょう。
- ④ 準備物を素早くし、忘れ物をしないようにしましょう。
- ⑤ 自分の作品や仲間の作品を共に大切にしましょう。
持ち帰った作品は、部屋に飾ったり、実際の生活の中で使ってみましょう。



3. 評価について

完成作品だけでなく、完成までの過程（下描き提出・制作途中提出があります。）や授業態度（授業遅刻・授業への取り組み方・忘れ物など）など総合評価とします。

4. 美術の教科でつけてほしい力

① 予測する力

次にすることを考えながら、現在の作業を進めることは、普段の生活でも大切なことです。予測するためには、たくさんの経験を積む必要があります。

② 失敗を乗り越える力

失敗しても次の方法を考えて挑戦しましょう。制作を通して、失敗を乗り越えるたくましさを身につけてほしいと思います。

保健体育

授業について

- ・一人一人の「やる気」が大切です。何事にも一生懸命取り組もう！
- ・協力や教え合いをしながらみんなで上達していこう。
- ・更衣を早くすませて、次の授業の準備をし、素早く整列しよう！
- ・授業中は集中し、緊張感をもって活動し、ケガや事故に気をつけよう。
- ・苦手種目や苦しいことから逃げずに頑張る力をつけよう。
- ・見学の時は、理由を提示してください。その後、手伝いをしたり、授業を見て学習したりして、可能な範囲で活動に参加しましょう。

家庭学習について

- ・自分の健康管理をできるだけ自分でしよう。
 - ①十分な睡眠をとる。(早寝・早起き)
 - ②十分な栄養をとる。(好き嫌いをなくす。間食しすぎない)
 - ③適度な運動をする。
- ・健康・スポーツに関するテレビを見たり、記事、本などを読んで自分の生活や体力づくりに役立てよう。



技術・家庭科

技術 家庭

コンピュータとものづくりを中心に学習していきます。

衣食住と消費生活，家族や地域について学習していきます。

授業は説明が中心の場合と，実習が中心になる場合があります。授業は集中力をもって受け，忘れ物はしないように気をつけましょう。

実習が中心の場合は，途中であきらめたりしないで，とにかく最後まで取り組むことが大切です。そして実習で使用する道具類は大切にし，安全や衛生面に十分気をつけて作業しましょう。

広い意味での家庭学習では，家の仕事の手伝い（洗濯・食器洗い・掃除・整理整頓・家族の世話）を進んで行き，家族の一員としての役割を果たすとともに，いろいろな作業を経験することです。この経験により，能率良く作業を進める方法を考える意欲と姿勢を養いましょう。



英 語

英語はトレーニングだ！

★★★ 『英語マスターへの道』 ★★★

- ①授業に集中する
- ②授業内容の復習を中心に前向きな気持ちで家庭学習に取り組むことでメキメキ英語力がアップします。

A：授業編

- ①先生の口元を見て、よく音を聞こう。
・・・耳をすませて、どんな口のかたちで音が出ているのか観察しよう。
- ②くり返し、まねして言う練習をしよう。
・・・単語でも文でも歌でもまずは口まねからスタート
- ③教科書などの文を大きな声で何度も読もう。「めざせ30回」
・・・先生の後について大きな声で読み、身体にリズムをしみこませる。
- ④何度も書く練習をしよう。
・・・授業中ノートに英語を書く時は、心の中で発音しながら書いてつづりを覚える。
- ⑤ちがいを気にしないで大きく表現しよう。
・・・言い間違えるのは当たり前！ 恥ずかしがらずに習った英語で言いたいことを表現しましょう。

B：家庭学習編

- ①宿題などをする時も、授業を思い出し、単語・英文など声に出して何度も繰り返しながら書く練習をしよう。
- ②予習は最低限の課題。各学年の課題を必ずノートに書いておこう。
- ③チャンスを見つけて、生の英語にどんどん触れよう
・・・テレビ・映画や洋楽、ラジオ（基礎英語など）など。
チャンスはたくさんあります。授業でも紹介していきませんが、普段の生活の中でも英語に関するアンテナを張っておきましょう。興味深いたくさんの出会いがみなさんを待っています。

保護者のみなさまへ

エビングハウスの忘却曲線というものがあります。一度学習して覚えたことでも、1時間後には56%忘れ、1日経つと74%忘れてしまうというものです。学校で習ったときに分かったつもりでも、1日経つと4分の1しか覚えていないということです。その後はゆるやかに減衰していき、1週間後には77%忘れてしまいます。

これは「物事を記憶した直後から忘れやすい」ということを示しており、そこで何らかの復習をすることで、この忘れていく率（忘却率）は随分低くなることも証明されています。つまり、同じ復習をするのなら、「**学校で習ったその日のうちに復習をすることが有効である**」ということを示しています。家庭学習が学力を定着させるためには不可欠であるということです。

ところが、ベネッセ教育研究開発センターがH16・17年度に実施した「義務教育に関する意識調査」では、平日の家庭学習は「ほとんどしない」と回答した小学6年生が17.7%に対して中学1年生では41.8%まで増加。「**中学校への進学を機に家庭学習から離れてしまう子どもが増えている**」という実態が明らかになりました。その一方で、休日の家庭学習時間を比較すると、2時間以上の割合は中学生の方が高く、「**中学生になると勉強する子としない子が、はっきり別れる**」傾向が見られます。

また、平日の家庭学習時間と成績との相関関係を見ると、成績が上位になるほど家庭学習を「ほとんどしない」と答えている割合が低くなっています。平均時間で比較すると、成績上位層は1時間10分、成績下位層は48分と、約20分の学習時間の差が見られ、家庭学習時間は成績によって二極化しているという結果が出ました。

中学校では、家庭学習の定着のために、『家庭学習ノート』を毎日提出することを取り入れて進めます。

復習の時間を定着させることで、子どもたちに学力がつくと確信しております。今後も子どもたちの学力向上に向け、各家庭と連携していきたいと考えています。ご協力よろしくお願ひします。

エビングハウスの忘却曲線

